

科目名	地域看護学特論Ⅱ Community Nursing Ⅱ	科目区分	専門	単位数	2単位
教員名	坂本真理子, 若杉里実, 浅野いずみ	必修・選択	選択	開講年次	第1学年
				開講学期	後学期
科目概要	地域における健康課題は時代や地域によって実に多様な様相を呈する。地域の健康課題とその解決につながるいくつかの話題に焦点を当て、地域看護学領域における現象のとらえ方やアプローチの方法の多様性を学び、探求する。				
目標	1 現在の地域看護学研究に関するいくつかの話題を通して、現象をとらえる方法を説明できる。 2 地域看護学領域におけるアプローチの多様性について説明できる。 3 変化しつづける地域の健康課題に対応するために求められる創造的なアプローチ方法について討議することができる。				
内 容	1	人々の健康課題の変遷	歴史的背景, 文献研究	坂本真理子	
	2	住民主体の健康づくり活動	住民組織活動	坂本真理子	
	3	発展途上国における健康支援のためのアプローチ方法	発展途上国, 地域の健康格差, フロントラインの地域看護職, 保健ボランティア	坂本真理子	
	4		フィールドワーク手法	坂本真理子	
	5		地域看護活動, アウトリーチ	浅野いずみ	
	6	健康マイノリティの健康課題とアプローチ方法	健康マイノリティ, 健康格差, 在留外国人	坂本真理子	
	7		多文化親子支援, アクションリサーチ	坂本真理子	
	8		在留外国人, 障がい児支援, トランジション	浅野いずみ	
	9	地域看護分野における人材育成とアプローチ方法	人材育成の現状と課題	若杉里実	
	10		新任保健師教育	若杉里実	
	11	地域看護分野におけるチーム活動	OJTの現状と課題	若杉里実	
	12		チーム活動支援	若杉里実	
	13	地域看護学研究の動向と課題	院生プレゼンテーション	坂本真理子 若杉里実	
	14		ディスカッション	坂本真理子 若杉里実	
	15	まとめ	地域看護学研究の展望	坂本真理子 若杉里実	
学修方法	1 授業中に提示する。参考図書や授業内容に関する文献を十分に読み込んで授業に臨むこと。 2 授業では学生のプレゼンテーションを取り入れ、ディスカッションを通してテーマに関する学びを深める。 3 授業内容への質問、プレゼンテーション及びレポートの内容についてフィードバックを行い、学修効果を高めていく。 4 1コマあたり、90分以上の事前・事後学修が必要となる。				
評価方法	課題レポート(75%), ゼミへの積極的な参加(25%)				
教科書・参考書	テキスト: 特に指定しない。 参考書: 適宜提示する。				
履修上の注意点	大学院生主体で授業を進めるため、毎回学修課題を明らかにして参加すること。				
オフィスアワー	坂本真理子: 水曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室1 若杉里実: 月曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室4 浅野いずみ: 水曜日 16:10~17:40 看護学部棟4階N454研究室				